

# 脆弱性の視点から アフリカの農村開発を考える

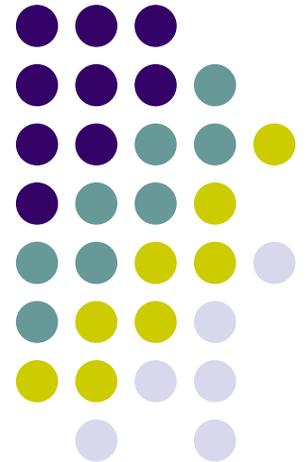
FASID

Brown Bag Lunch Seminar

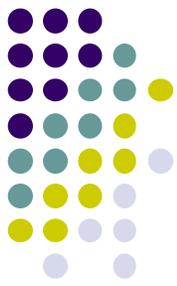
2008年2月12日

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科

島田周平



# なぜ脆弱性(vulnerability)か

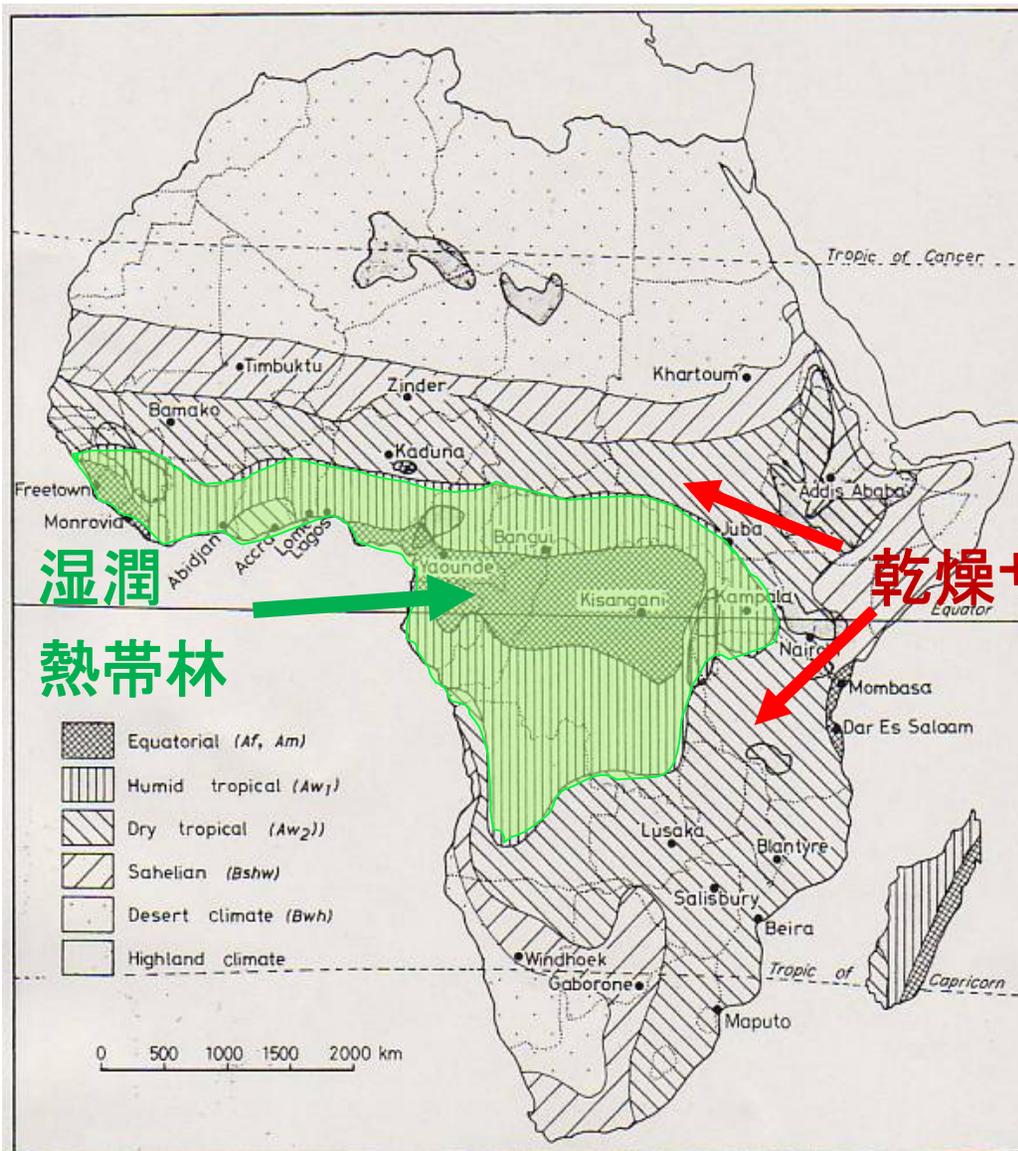


- 不確実性 (uncertainty, risk)社会
- 生計戦略(livelihood strategy)研究の成果
- 地域研究の成果

# 広大な乾燥サバナ地帯



過剰生産



湿润

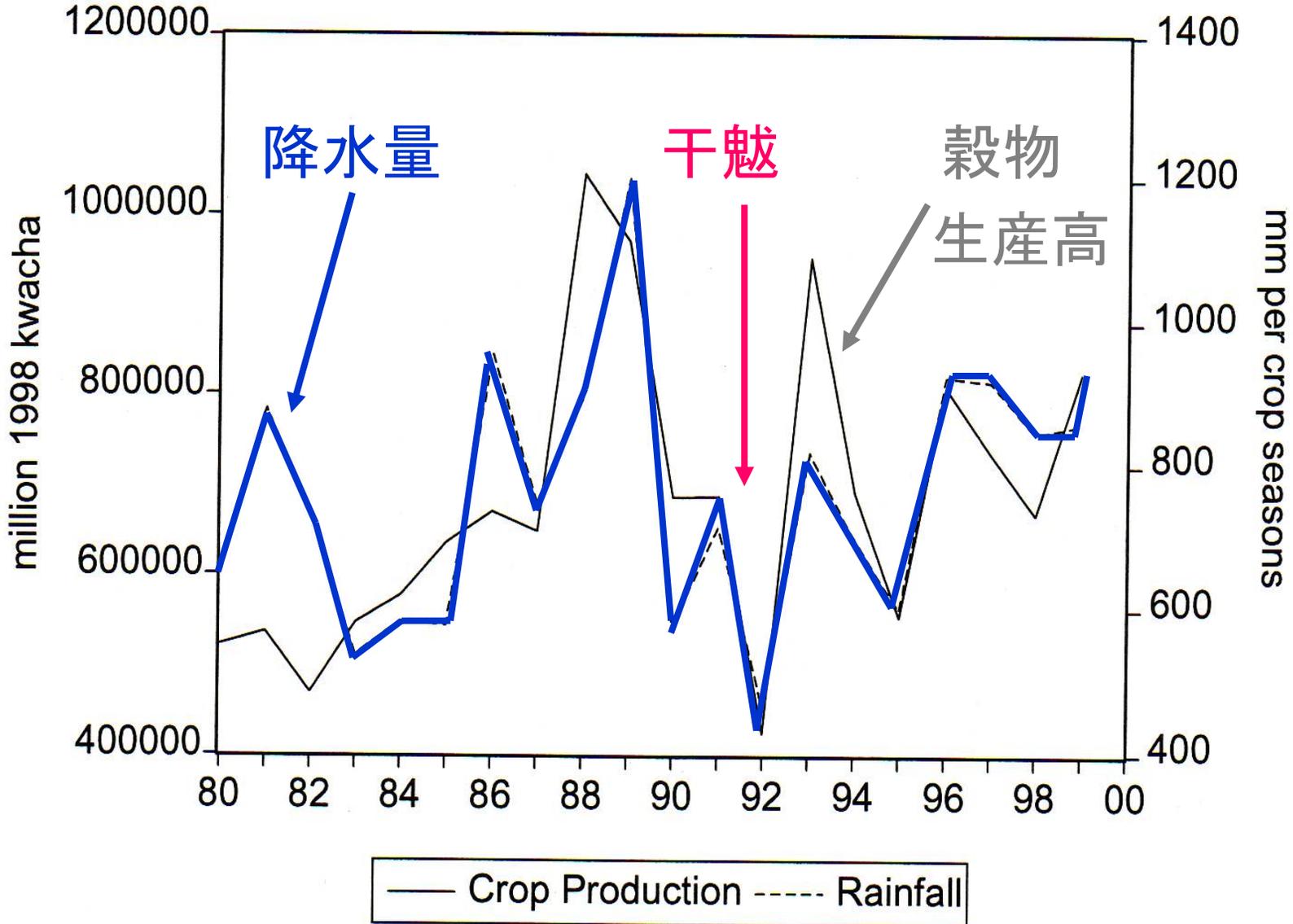
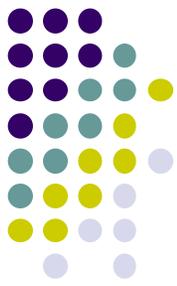
熱帯林

乾燥サバナ  
高リスク

Fig. 2.6 Climatic regions of Africa

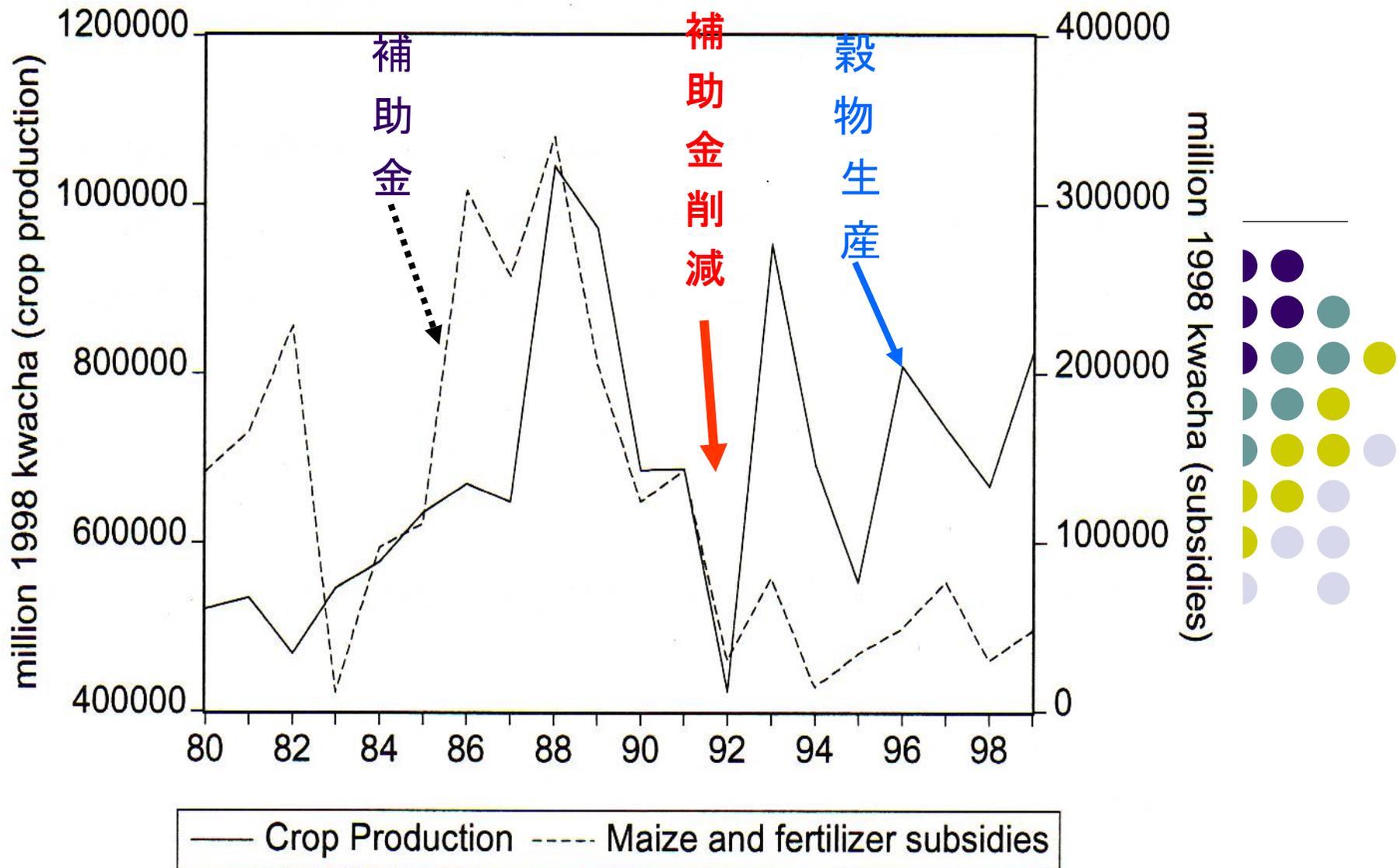
# 降水量変動の不確実性

## リスクの高い農業生産(ザンビアの例)

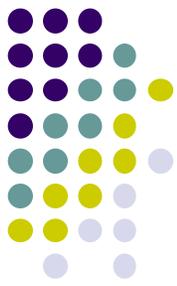


# 社会・経済的リスク

## 補助金削減と穀物生産の関係(ザンビア)

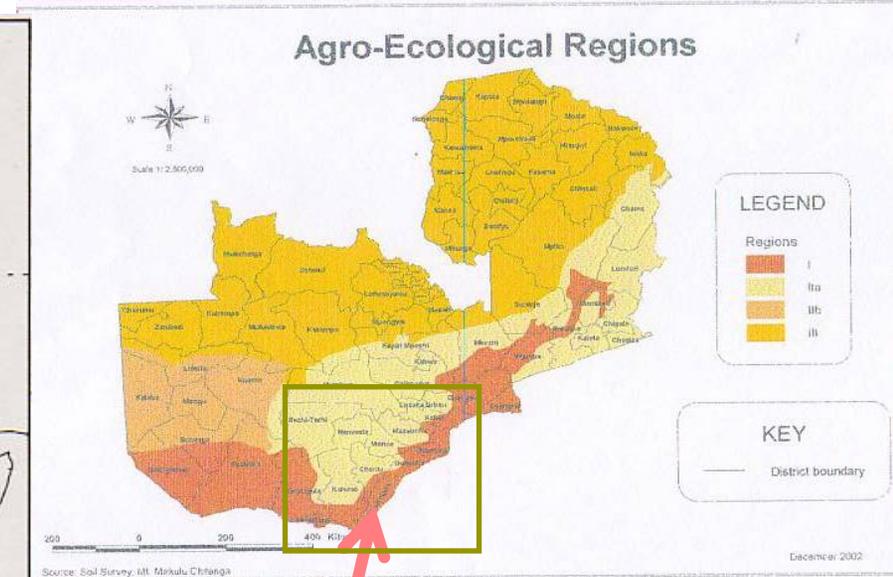
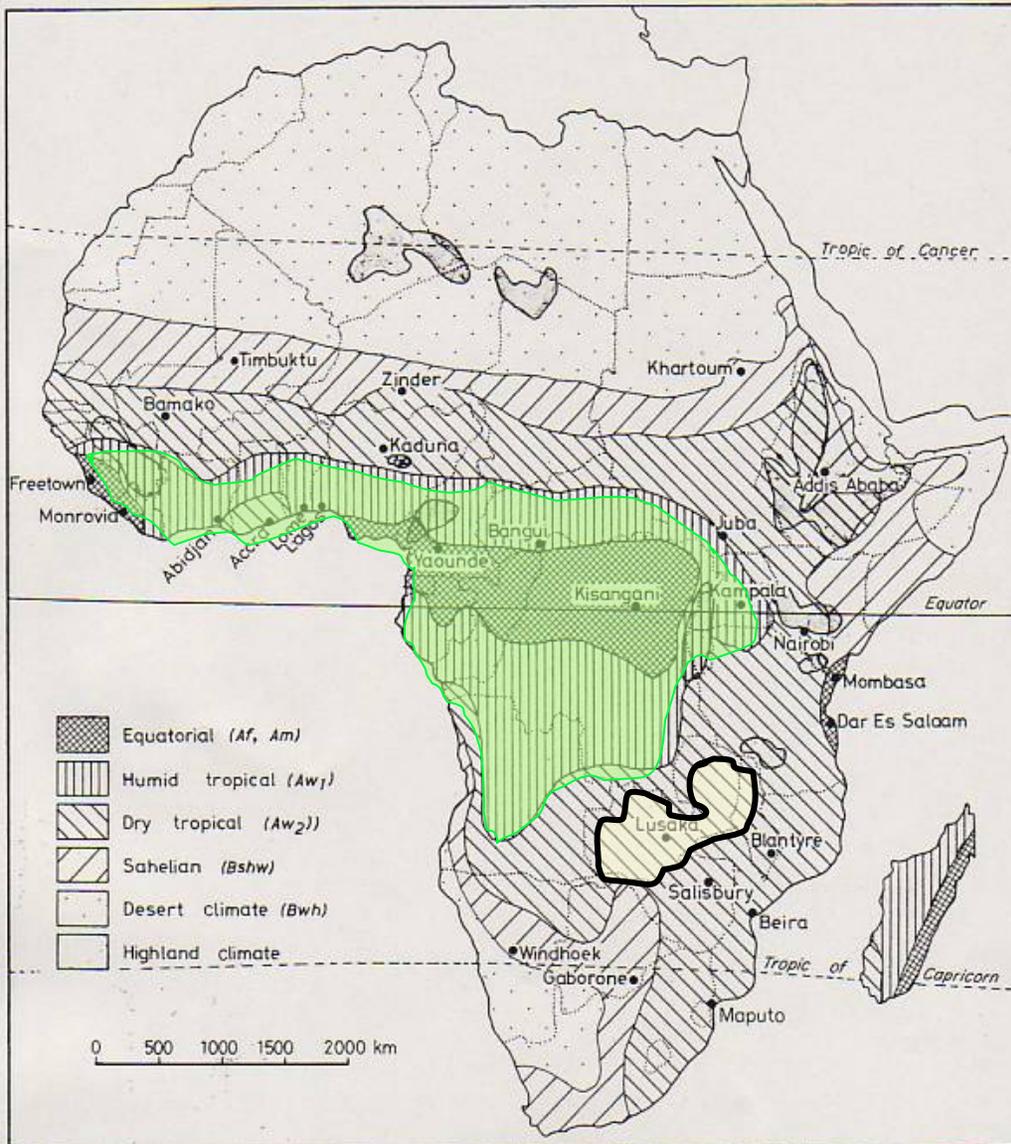


# なぜ脆弱性(vulnerability)か



- 不確実性 (uncertainty, risk)社会
- 生計戦略(livelihood strategy)研究の成果
- 地域研究の成果

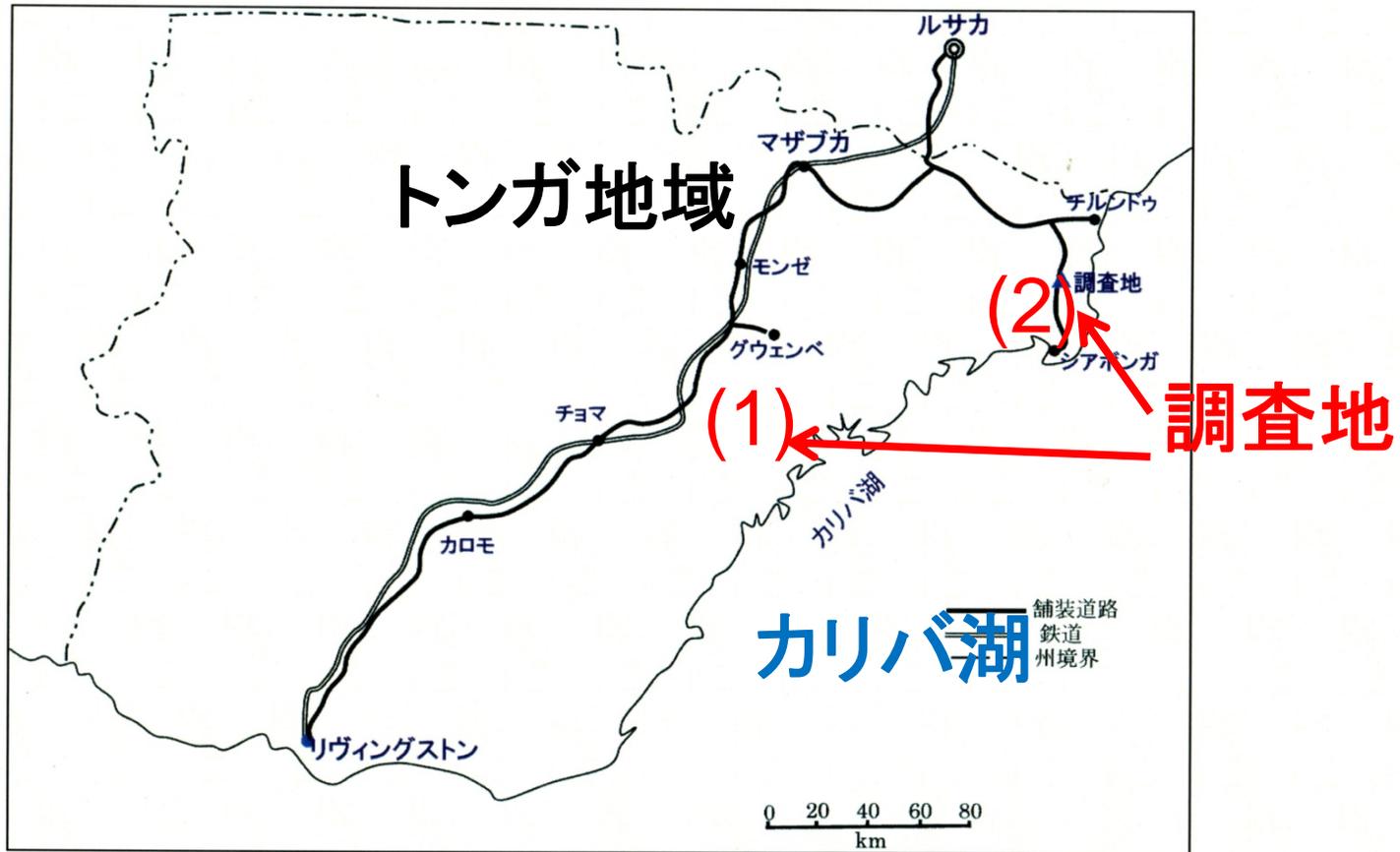
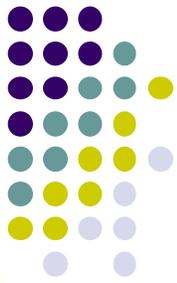
# ザンビアの位置



降水量800ミリ以下

Fig. 2.6 Climatic regions of Africa

# ザンビア南部州の調査事例



# 農村は農業だけをやっているわけではない

## 農村における多生業（調査地(1)）



### 調査村の現金稼得

表 調査村の現金稼得手手段とそれぞれの従事世帯数

### 複合した現金稼得

現金稼得手手段  
平均保有数: 3.5

### 木挽き業

従事世帯数が多い  
格段に大きい収入

現金稼得手手段	従事 世帯数	A 15世帯	B 17世帯	C 9世帯
野菜の販売	22	9	10	3
果物の販売	24	13	7	4
ワタ栽培	3	0	3	0
木挽き業	18	10	7	1
石版売り	16	9	7	0
萱売り	12	8	3	1
丸太売り	8	3	2	3
masabe*売り	3	3	3	3
家畜取引	5	1	4	0
魚販売	2	0	2	0
地域内賃労働	20	6	7	7

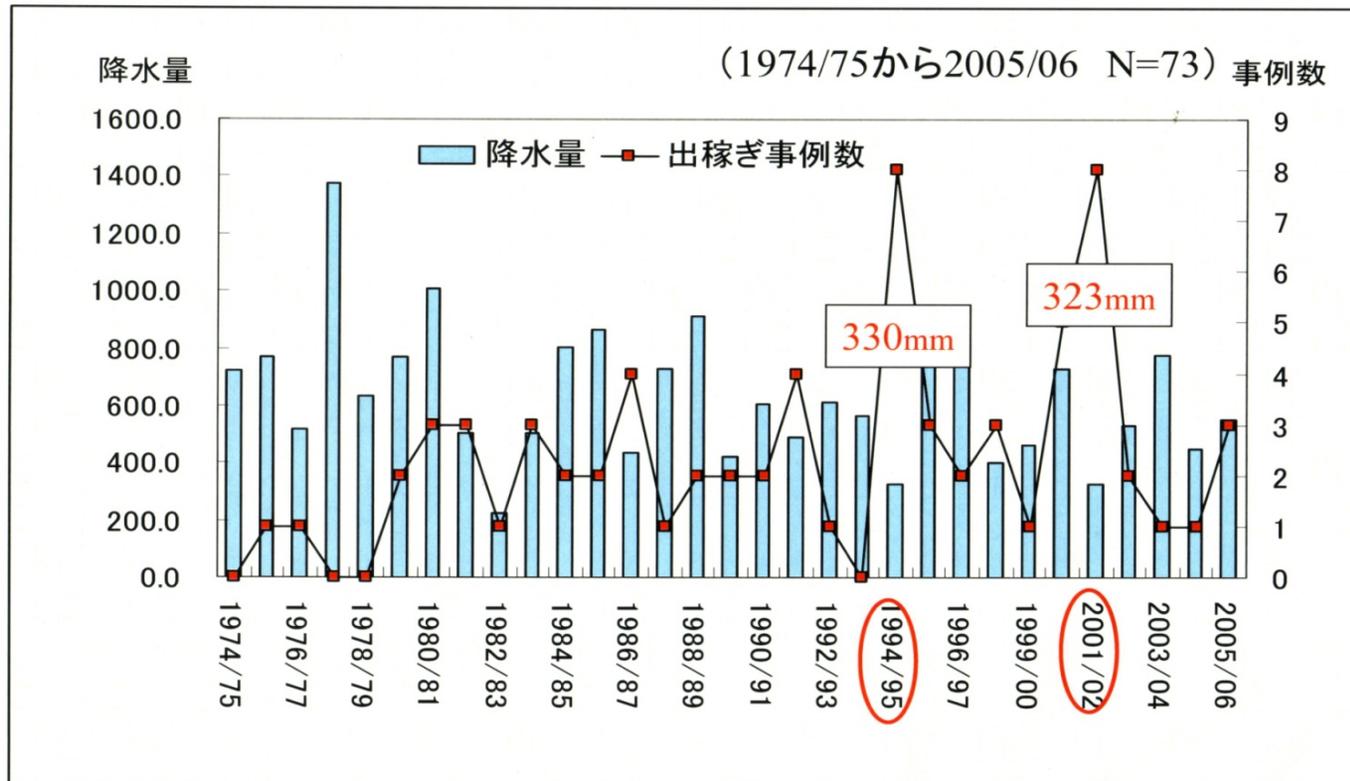
\*Neorautanenia mitis (A. Rich.) Verdc.の根

# 農民は農業だけをやっているわけではない

## 降雨と出稼ぎ(調査地(2))



### 出稼ぎ事例数の変動

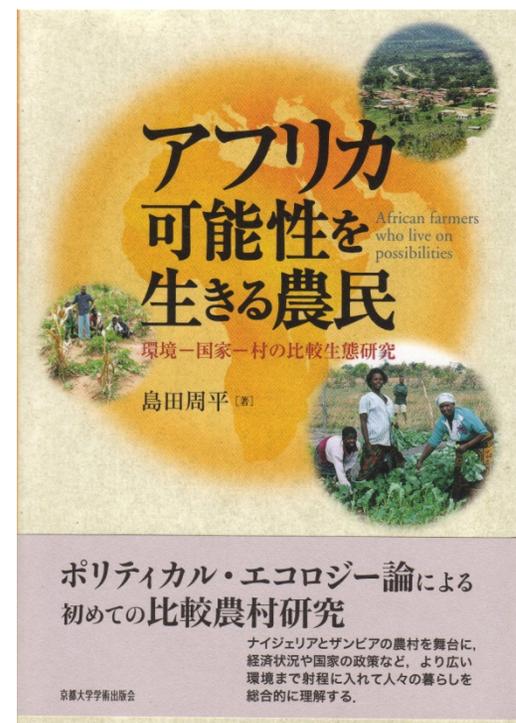


1994/95年度、2001/02年度の干ばつの年に事例数が増加  
 ⇔降水量だけでない複合的な要因

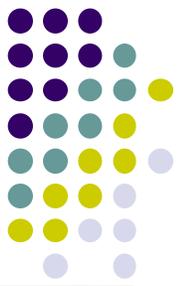
# なぜ脆弱性(vulnerability)か



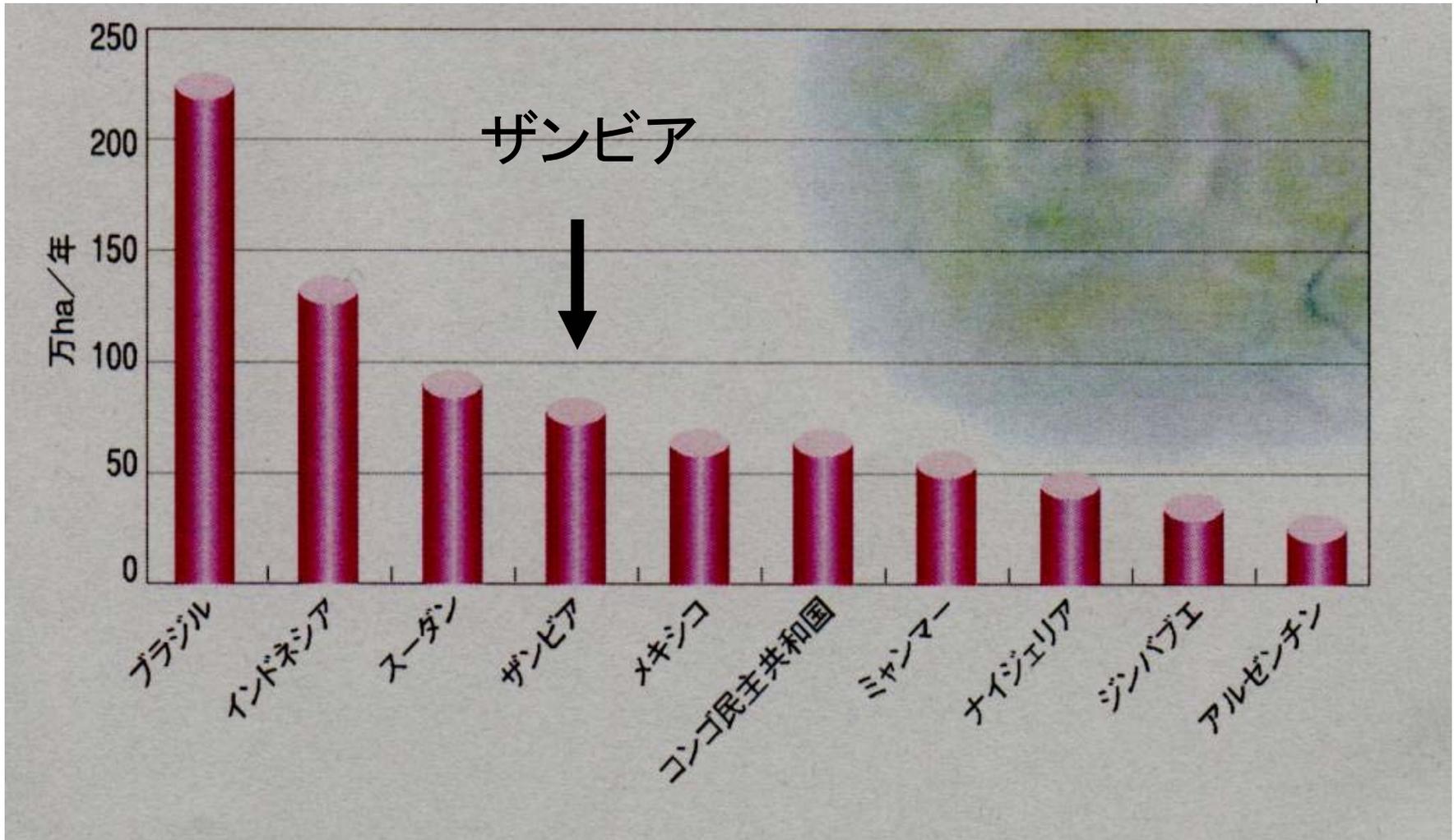
- 不確実性 (uncertainty, risk)社会
- 生計戦略(livelihood strategy)研究の成果
- 地域研究の成果



# ザンビアの森林破壊



森林面積の減少が激しい国(1990~2000年:万ha/年)



出典: FAO(2000)Global Forest Resources Assessment 2000

# 森林保護区内の森林破壊



1982年9月

1997年8月



# 政治の民主化→森林破壊

政府の権威低下

伝統的支配者層の台頭

経済意識

土地所有権への欲求増大

未利用地へのアクセス要求増大

環境破壊

村長による村民「追放」

森林保護区内への「入植」

政治変化→環境破壊

# 森林破壊のシナリオ 再考

人口増加  
↓  
森林破壊

人為的利用

↓  
森林形成

Cambridge University  
Press 1996

AFRICAN  
STUDIES

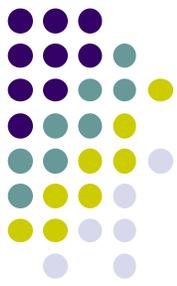
## MISREADING THE AFRICAN LANDSCAPE

*Society and ecology in a forest-savanna mosaic*

JAMES FAIRHEAD & MELISSA LEACH



# なぜ脆弱性(vulnerability)が 重要なのか



- 不確実性 (uncertainty, risk)社会
- 生計戦略(livelihood strategy)研究の成果
- 地域研究の成果



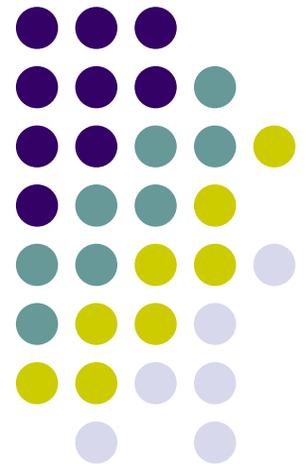
- 安定性、蓄積、トレード・オフ概念の再考
- 危険分散、多生業戦略
- 学問の専門分化の弊害、評価のあり方

# 農村社会・農民の脆弱性とは何か

リスクに晒されやすい危険性

リスクに対する対処能力の欠如

↔ 資源へのアクセスと関係



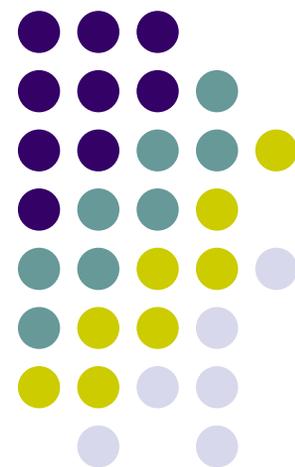
# リスクに晒される危険性

## 自然的リスク

干魃、多雨、暴風雨、地力低下  
疫病、虫害、病気、死亡などに  
対する無防備

## 社会的リスク

政治的疎外、経済的周辺化



# 対処能力の欠如

## 自然的リスクに対する対処能力

在来技術や在来知の無効化

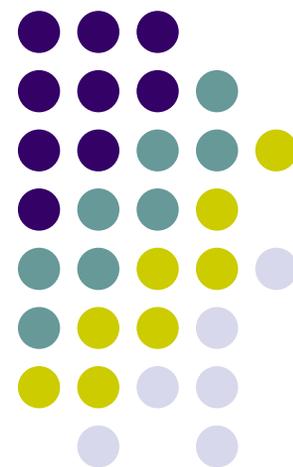
制度(伝統、新導入)の機能不全

近代技術や援助の不適合

## 社会的リスクに対する対処能力

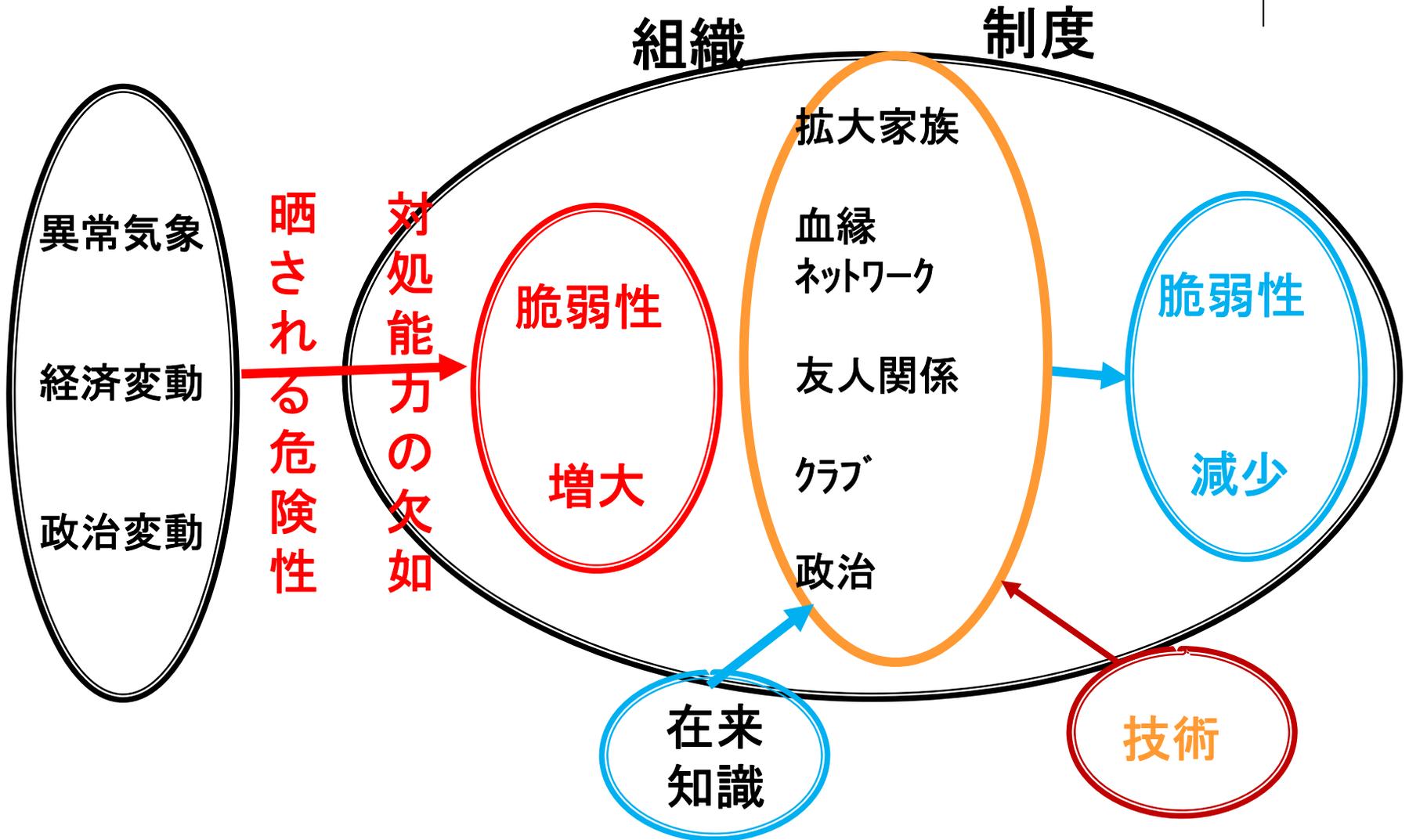
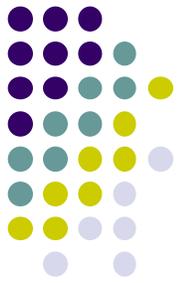
諸制度の機能不全

政治的疎外

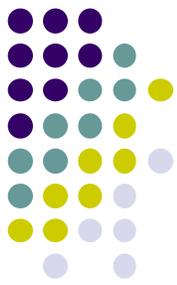


# 脆弱性増大の緩和

-知識、制度、組織、技術-



# 自然的リスクに対する伝統的対応と 農業近代化



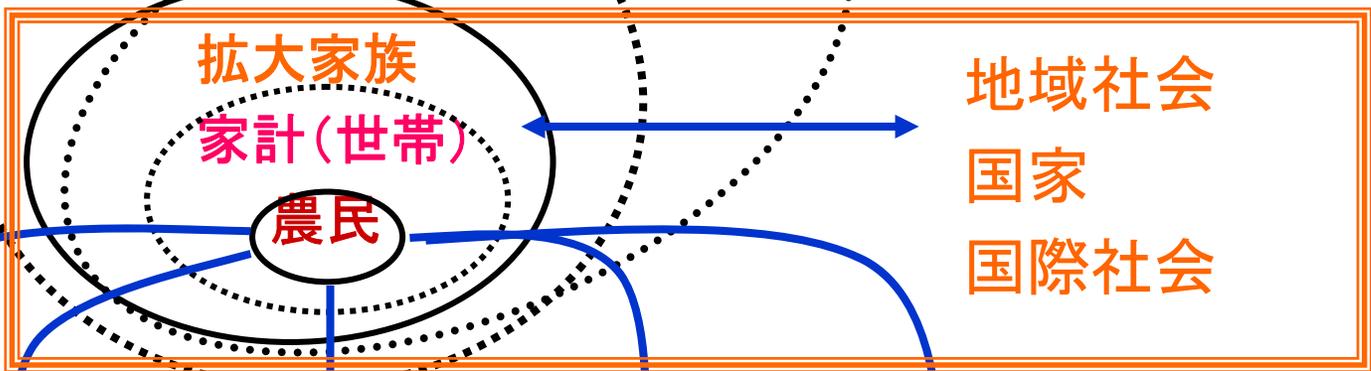
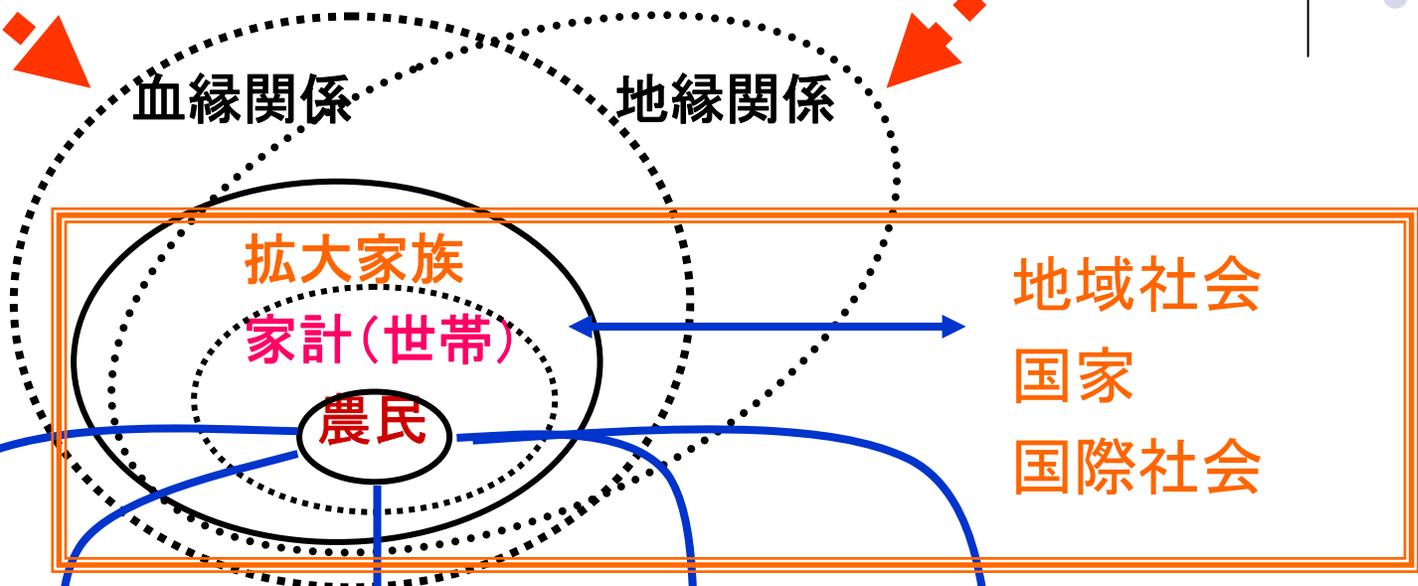
- 休閑焼畑耕作
  - 肥料、農薬を使わない
  - ← 肥料と農薬を使った近代的農業の推進
- 間植・混栽
  - 生産性が低い
  - ← 機械化のため単一作物栽培を推進
- 共同的土地保有
  - 土地を豊かにしようという気持ちは起きない
  - ← 土地の私有地化推進



自然的  
リスク

# 伝統的対応能力

社会・経済的  
リスク



拡大家族

狩猟

採集

牧畜

農業

出稼ぎ・離村

森林

草地

土地

農村・都市

# リスク回避型農業と 資源へのアクセシビリティ確保の努力



- 生産性より持続性
- 生産性より危険分散
- 私的所有より共同保有



- 特化より多生業
- ネットワークの利用
- 熟練よりブリコラージュ性

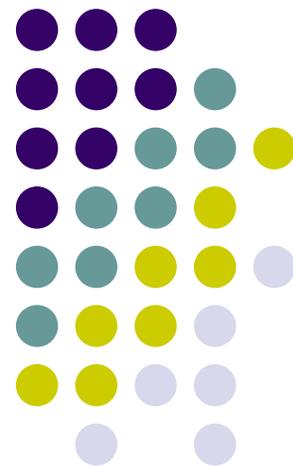
# 農村開発は 農村社会・農民の脆弱性を 緩和するものでなければならない

リスクに晒される危険性を減少  
リスクに対する対処能力の強化



**近代的知識、技術、組織、制度の適用**

伝統的知識、技術、組織、制度の無視



# 在来の知識・技術・組織・制度とは



## 在来の知識

環境認知能力

動植物に関する豊富な知識

## 在来の技術

伝統的農法

## 在来の組織

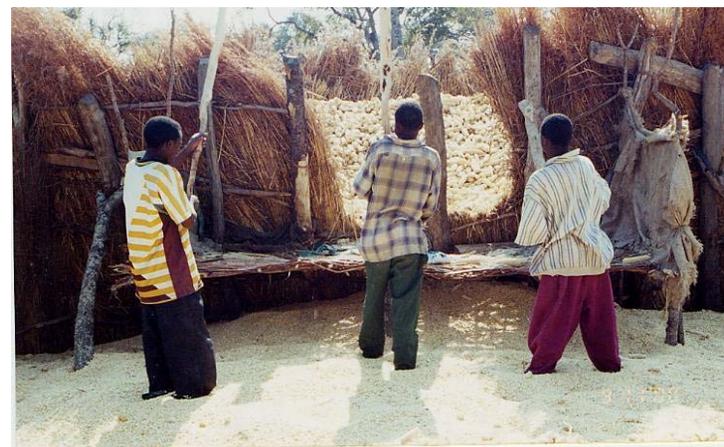
親族集団・地域組織

宗教組織・政治組織

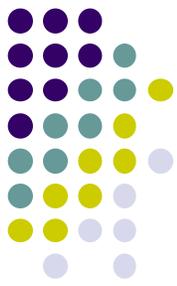
## 在来の制度

伝統的互助組織

伝統的土地保有制度



# 在来の技術・知識・組織・制度 の利用・動員にみられる特徴



- ブリコラージュ能力
- 平準化志向、共同性
- 互惠性
- 休みなき交渉・請求
- ガバナビリティ
- キャパシティ・ビルディング
- オーナーシップ
- 透明性

# ブリコラージュ能力

## リスク対応のための可塑性・適応性

変わらぬ生業と激しく変わる生業の併存

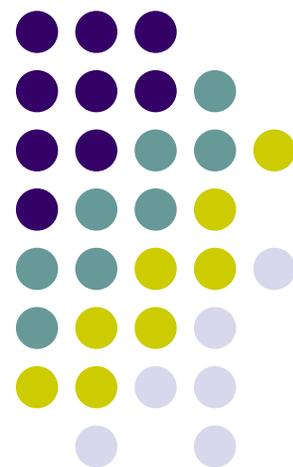
自給的食料生産と換金作物生産

農業外就業の重要性

村内雑業、出稼ぎ

採集・狩猟の存続

在来知の重要性



# 経済自由化の影響

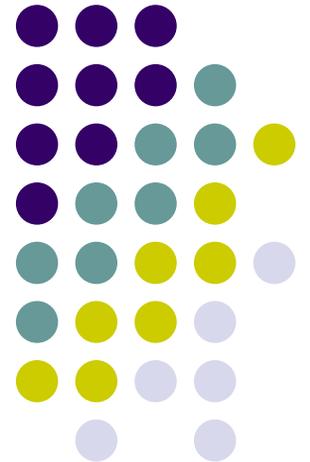


# 平準化志向、共同性、互恵性

## リスク対応のための請求権確保

資源への請求権の確保・強化

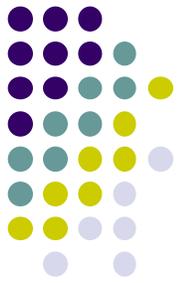
水平的互恵性、垂直的互恵性



# 返済を強要しない関係

一年以上受け取りのない金・メイズ

1997年8月に牛を屠殺、1998年8月現在の未収分

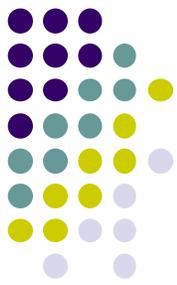


返してくれない人	返却の約束(金額、メイズ)
● Mu.婦人	6500K
● C婦人	6000K
● Mn婦人	5000K
● Shi婦人	5000K
● Z婦人	1500K
● Ti, Z氏	2500K
● Chi氏	メイズ 2袋
● Shi氏	メイズ 4袋
● Mu氏	メイズ 3袋
● Wa氏	メイズ 9袋
● Sha氏	メイズ 2袋
● Nk氏	メイズ 1袋
● Mus氏	3000K

メイズ1袋：約 30,000K (K: クワッチャ : 1米ドル=約1400K)

# 助け合い労働

(2000/2001年の聴き取り結果)



## 助けた仕事の内容

牛と犁を貸した

牛と牛車を貸した

牛を貸した

牛車を貸した

農地を貸した

子供の世話をした

ポンプを貸した

耕起してあげた

助け合い労働

8日間

9日間

3日間

4日間

苗畑のため

必要なとき

必要なとき

頼まれたとき

3日間

## 関係

いとこ

親戚

友人

兄弟

友人

友人

友人

親戚

友人

# 一律ではない対価

(2000/2001年の聴き取り)



● 仕事の内容	受け取った品物
● 耕起(1日)	メイズ(2袋)
● 耕起(3日)	メイズ(2袋)
● 耕起(2日)	メイズ(1袋)
● 耕起(3日)	メイズ(1袋)
● 耕起(2日)	メイズ(10袋)
● 耕起(2日)	メイズ(10袋)
● 耕起(4日)	メイズ(2袋)
● 耕起(3日)	メイズ(1袋)
● 耕起(2日)	メイズ(1袋)
● 耕起(2日)	メイズ(1袋)
● 耕起(2日)	メイズ(1袋)
● 耕起(請負)	メイズ(2袋)
● レンガ積み	メイズ(2袋)
● 前借り(メイズ4袋)	100,000K
● 耕起(1日)	肥料(1袋)
● 除草(1日)	肥料(1袋)
● 除草(2日)	肥料(1袋)

● 仕事の内容	受け取った金額
● 耕起(1日)	25,000K
● 耕起(2日)	30,000K
● 耕起(45日)	45,000K
● 耕起(30日)	30,000K
● 耕起(50日)	50,000K
● 耕起(42日)	42,000K
● 耕起(2日)	n. a.
● 耕起(1日)	n. a.
● 耕起(5日)	n. a.
● 耕起(2日)	n. a.
● 耕起(1日)	n. a.
● 機械修理	70,000K
● 機械修理	45,000K
● 機械修理	n. a.
● 牛車貸し(半日)	1000K x 30
● 牛車貸し(半日)	500K x 50
● 牛を貸す(半日)	n. a.
● 牛二頭貸す(半日)	n. a.

# 休みなき交渉・請求

## アクセス・チャンネル増大の必要性

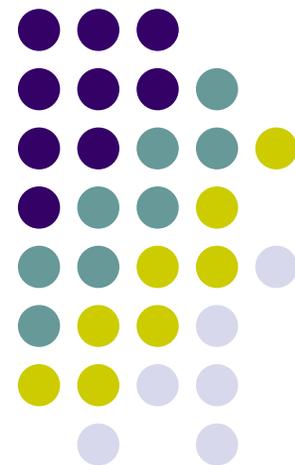
組織を構造物とみなさない (Cleaver, 2001)

参入の障壁がない、規範と権威のあり方

制度を交渉可能なコンセンサスとみなす

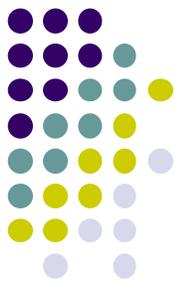
アクセス・チャネルをめぐる

休みのない働きかけ



オイル・ブーム期のナイジェリアのアクセス・チャネルへの過剰投資  
(S.S.Berry 1989; S.Shimada 1991)

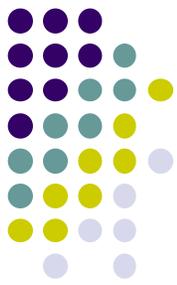
# 在来の技術・知識・組織・制度 の利用・動員で問題とされる点



- ブリコラージュ能力
- 平準化志向、共同性
- 互恵性
- 休みなき交渉・請求
- 技術の蓄積困難
- 資源へのアクセスが保障されない
- 社会関係資本の蓄積とはならない
- ネポティズムの危険性
- ジェンダー問題

# アフリカのオーナーシップを認める

## 開発の有効性・効率性を求める

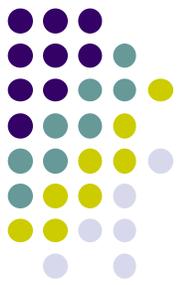


- 既存の政治組織・権力構造の利用
- 伝統的首長層の利用
- アフリカ人ディアスポラの呼び戻し
- 新しい概念による民主化の推進
- 新しい地方分権化
- 国際的NGOを含む援助

可塑性、適応性  
緩やかな規範、  
交渉の重視

明確な目的、  
規範、  
明文化、効率性

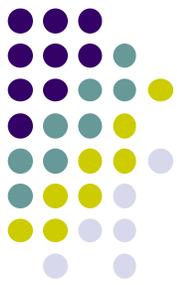
# 脆弱性緩和や社会的レジリエンス の評価



(貧困削減と援助の透明性・効率性との比較で)

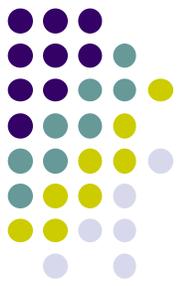
- 可塑性・適応性の評価
- 定性的評価
- 長期的評価
- 明確な指標に基づく評価
- 定量的評価
- 短期的評価

# 脆弱性からみた農村開発 具体的提言(1)



- 人的ネットワークの再編・利用  
都市居住者ネットワークを農村開発に利用  
葬式講、無尽講、地域開発アソシエーション  
協同組合、
- 多生業によるリスク回避を目的とする開発  
生産性第一主義の再考、可塑性の重視  
農業と雑業の組み合わせ(無連関性)  
農業の相対化、開放系の中の農村

# 脆弱性からみた農村開発 具体的提言(2)



- アフリカ人オーナーシップの再定義  
真の意味の内発的発展の実現  
伝統的支配構造・政治構造の利用  
＜不正の排除＞
- 開発評価の方法論の見直し  
定性的・長期的評価方法の確立  
可塑性、適応性の評価
- アフリカ人ディアスポラの呼び戻し  
アフリカ人によるアフリカ再生  
ルック・ウェストでもルック・イーストでもない途

# ご静聴ありがとうございました 共同耕作と「酒の仕事」

